



ACPF埼玉支部から皆さまへ

【支部設立時の状況】

埼玉支部の設立は 1992 年 2 月 15 日です。

冬季オリンピック（アルベール）開催中でした。バルセロナオリンピックの開催年でもあり、最後の夏季・冬季五輪の同年開催でした。横綱千代の富士の断髪式があったのも 2 月でした。また刑事司法関係では、東京佐川急便事件の強制捜査が始まった直後でした。

そういう世相の中、支部設立総会・記念祝賀会が大宮市（現在のさいたま市大宮区）「清水園」にて開催されております。当時のメンバーは次のとおりです。（以下、文中敬称は当時）

支部会長 村上巖テレビ埼玉社長

副会長 平井清作埼玉公証人会長、奥田義テレビ埼玉取締役

福岡瑞記埼玉新聞常務取締役、江連俊則埼玉県保護司会長

支部顧問 山本達雄浦和地検検事正

ACPF 本部の長島敦理事長、杉原弘泰氏（国連アジア極東犯罪防止研修所長）、そして第 90 回高官セミナー参加者全員をお招きし、並行して賛助会員を含め、法人・個人両会員合わせて 100 名余でスタートし、7 月 21 日には ACPF パキスタンと姉妹関係を結びました。



平成 4 年 2 月 設立総会及び祝賀会

【その後の活動状況】

ここで、これまで行われた埼玉支部の主な行事をご紹介します。

- 1999 年 2 月 5 日、大宮ソニックシティホール国際会議室において、佐藤道夫氏（元札幌高等検察庁検事長）を講師としてお迎えし、特別講演「法と政治と常識と」を開催しました。ご存知のとおり、佐藤氏は、退官後に参議院議員となり、当時は第二院クラブ代表でした。ACPF 本部からは瀧澤理事（事務局長）、赤塚事業局長もお越しになり、支部会員ほか一般の方々を含め参加者 150 名の盛会でした。
- 1999 年 9 月 21 日にはアジ研と府中刑務所を視察し、増野埼玉支部会長ほか会員 16 名、浦和（現さいたま）地方検察庁から尾崎総務部長検事ほか司法修習生 11 名の総勢 29 名の参加となりました。
- 中でもかつてない感動を受けたのは、2002 年 10 月 2 日開催（於法務省）のアジ研設立 40 周年・ACPF 設立 20 周年の記念式典、そして ACPF 第 9 回世界大会という一連の行事です。埼玉支部からは、増野会長、奥田副会長、高池幹事等総勢 19 名が参加し。3 日間の行事では施設見学、盛大なレセプション、パネルディスカッション等目白押しで、国際交流を深め、改めて崇高な ACPF の使命を感じたものです。
- 2003 年 9 月 10 日には特別講演会「最近の我が国における犯罪情勢」（講師は中島浩さいたま地検検事正・元アジ研次長）を、大宮ソニックシティ会議室で開催して

おります（約 70 名参加）。

- 2003 年 10 月 10 日・11 日には、第 125 回国際研修参加者サイド・ナイヤール・アッバス・カズミさん（パキスタン参加者）をお招きし、「少年犯罪とパキスタン」のスピーチを頂き、その後支部会員と交流懇談会を開催しました（於さいたま新都心ラフレさいたま）。2 日目には大宮・川越の観光スポットにご案内しております。
- 2006 年 9 月 29 日はアフガニスタンとパキスタン国際研修参加者と意見交換会を開催し（於ラフレさいたま）、翌 30 日は日光観光を楽しんでもらいました。
- 2011 年 2 月 25 日には第 11 回ケニア非行少年処遇研修制度の参加者 15 名の歓迎夕食会をラフレさいたままで開き、長島裕財団本部審議役（当時）の呼びかけで「ジャンボ・ブワナ」の大合唱となり大変盛り上がり、これも忘れられない一コマです。
- 2012 年 2 月 24 日も引き続きケニア研修生をお呼びし、腰を振って「ジャンボ・ブアナ」の再現となりました。
- 2013 年 2 月 19 日のケニア研修生との交流会では、既に恒例となった「ジャンボ・ブアナ」のみならず、日本側から竹内芙美子副会長の動きをまねて参加者全員で「秩父音頭」を踊り好評を博しております。



ジャンボ・ブアナの一コマ

【埼玉県保護司カウンセリング研究会と共に、そして現在】

その後、2013 年 6 月開催の支部総会で、ACPF 埼玉支部と埼玉県保護司カウンセリング研究会との共催により年 2 回（夏・冬）の講演会開催の事業計画が承認され、今日に至っております。冬の公開講座（保護司の事例発表）では毎回元日本臨床心理士会会長の村瀬嘉代子先生にお越し願ひ、貴重なアドバイスを頂いております。また、数年置きに海外交流を実施し、カウンセリング研究会員と



令和元年12月 公開講座

共に、フィリピン、韓国等の施設を訪問しております。実は、私、志村巖は現在、埼玉支部幹事（事業担当）を仰せつかっていますが、先輩幹事である野口國男先生のご指導を受けており、埼玉県保護司カウンセリング研究会会員でもあります。そのご縁で入会したのですが、今まで、一番の思い出は、横地環さいたま保護観察所統括保護観察官（元アジ研教官、現京都保護観察所長）引率で、フィリピンを訪れ司法関係者と交流し、施設を巡った経験です。普段では会えないような現地高官との交流、施設見学を通じてアジ研の凄さを体感しました。今でもフィリピン保護観察官とは Facebook を通じて交流を続けています。

2018 年 8 月 17 日～24 日には、角田亮さいたま保護観察所企画調整課長（現さいたま保護観察所次長・支部会員・元アジ研教官）引率のもとケニア共和国を訪問しました。前年の 2017 年に埼玉支部が資金援助して世界保護観察会議にゼブラ・ワンプアさんを招い

ていたのですが、ワンプアさんと感動の再会を果たしました。

この年9月11日、第170回国際研修参加者と埼玉支部主催意見交換会をラフレさいたままで開催し、瀬戸毅アジ研所長、山下輝年事務局長を含む40名が参加し、恒例の「秩父音頭」に加え松本咲枝会員指導の「健康体操」で大変盛り上がりました。

2019年8月31日・9月1日の第173回国際研修ACPF埼玉支部招待行事では、インドネシア、ケニア、マレーシア、サモアからの参加者をお招きし、さいたま浦和地区更生



令和元年8月支部招待行事

保護サポートセンター、更生保護法人清心寮を見学、熱心な意見交換が交わされました。プリムローズ有朋での研修参加者発表後の懇親会では、研修生が浴衣に着替え、城祐一郎氏（現埼玉支部会長・元アジ研教官）から居合術の指導を受け大変満足の様子でした。翌日は川越観光を満喫し、埼玉の思い出を作っていました。

【最後に】

埼玉支部は法人会員の数も少なく大きなプロジェクトは中々できない状況にあります。が、会員一人一人の志、研修員に対するおもてなしを大切にしています。

不思議なご縁ですが、アジ研の国際研修に1泊2日で参加する保護司国際研修がありまして、私が受講した時のアジ研所長が山下輝年事務局長でした。地域密着の保護司の仕事はもちろん大切ですが、日本発で国際平和に貢献できるアジ研活動醍醐味を感じます。入会して以来の故信田壽光会長、岡村会長、故長島裕会長代行のお人柄にも魅せられました。

2020年度からは城新会長を支える一員として微力ながら携わって参ります。活性化には会員増強も重要な課題であります。アジ研の魅力を理解してもらい、国際奉仕団体であるロータリークラブの友人達にも入会してもらいました。今後は司法、矯正、保護関係のみならず色々な分野で活躍する仲間を増やしていきたいと考えています。

現在コロナ禍で活動がままならないのですが、状況が落ち着きましたら再び積極的に活動していきたいと考えています。最後に埼玉支部活動にご尽力くださった故信田名誉会長、故長島会長代理に心より感謝申し上げます。

<埼玉支部の現体制>

支部会長 城 祐一郎（昭和大学医学部教授・元検事・元アジ研教官）

副会長 榎本 恭子（久喜人権擁護委員協議会会長・埼玉県保護司カウンセリング研究会会員）

竹内英美子（埼玉県保護司カウンセリング研究会会員）

市川 憲子（埼玉県保護司カウンセリング研究会会員）

支部顧問 赤塚 康（元アジア刑政財団事業局長・元矯正管区長）

（以上）